

# 宮私幼だより

第160号 令和6年10月1日



エコーノワール幼稚園



## 巻頭言

理事長 鎌田文恵

近年、梅雨時期の6月に入ると、真夏のような日差しと暑さ厳しい日が続くことがあり、7月、8月に入ると急に天候が変わり、長雨や台風、ゲリラ豪雨などが発生しています。各加盟園の園長先生はじめ、教職員の皆さんにおいては、園の災害対策や長期休業時の預かり保育において、子ども達を熱中症や感染症から守り、安全・安心な園運営のため様々な対策を講じながら日々の教育・保育にあたられていることと思います。

去る8月に実施しました地区別設置者・園長会議においては、ご多用のところ皆様にご出席頂き、多くのご意見を頂戴しましたことに心より御礼申し上げます。

さて、気候変動も含め、様々な変化を感じる昨今、宮私幼においては先達が築き上げてきた思いを受け継ぐ一方で、変革が必要な時期が訪れており、多岐に及ぶ変化に一つ一つ対応することが必要であることを感じています。ご存じのとおり、予測されていたとは言え、新型コロナウイルスパンデミックの影響も受け、少子化が予測以上に早く進み、また、待機児童対策で新設された保育施設の増加の影響もあり、園児数の減少が急激に進んだことから、宮私幼会費について改正を行いました。また、配慮の必要な幼児の増加に対応する教職員配置や新制度移行による教職員増加により、特に宮私幼の重要な事業でもある退職手当資金給付事業については業務量が増えていることから、現在、会員園の皆様のニーズや変化に対応出来るように、事務局内でも一つひとつ確認しながら、今後の在り方を検討している状況です。

ご承知のように、改正私立学校法が来年の4月1日に施行されますが、寄付行為の変更認可申請に向けた準備・手続等の必要な対応が求められております。宮私幼といたしましては、各法人の視点で円滑に申請手続きが進められるよう情報収集に努め、適宜提供してまいりたいと考えております。また、以前から宮城県に実態データを提供して要望してきた、配慮の必要な幼児に対応するための補助金として令和6年度より要配慮園児支援事業費補助金が県独自で制定されました。引き続き、会員園の現状を把握した上で、関係各所へ要望活動を行いたいと考えていますので、その際には一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

最後になりますが、10月18日開催の第38回東北地区教員研修大会に向けて公開園の教職員の皆様には大変なご苦勞をお掛けしておりますが、宮私幼一丸となって取り組んでまいりたいと考えておりますので、会員園の皆様のご協力をお願い申し上げます。



## 令和6年度 宮私幼理事会の概要（4月～9月）

### 【令和6年度 第1回理事会】

日時 令和6年5月17日(金) 午後2時～

場所 宮私幼会議室

#### 議事

- (1) 令和6年度第1回定時総会の議案について
  - 第1号議案 令和5年度事業報告について
  - 第2号議案 令和5年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告・監査報告について
  - 第3号議案 役員を選任について
- (2) 第1回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について

#### 報告事項

- (1) ネットトヨタ大阪(株)からの寄付金について  
八幡花園幼稚園に150万円(令和6年3月21日)
- (2) 社会福祉法人宮城県共同基金から、第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>に助成金決定通知書50万円(令和6年4年23日)

### 【令和6年度 第2回理事会】

日時 令和6年6月13日(木) 午後2時～

場所 宮私幼会議室

#### 議事

- (1) 各委員会担当について
- (2) 宮私幼教育振興大会・宮私幼P T A研修大会について
- (3) 地区別設置者・園長会議について 8月19日～23日(仙台地区は8/9)
- (4) 地区運営費・研修費について:研修会の1ヶ月前までに申請書を提出し、終了後すぐに報告書をFaxで送り、その後郵送する。(研修費は上限50,000円)
- (5) 令和6年度全日本私立幼稚園 第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>について
- (6) いじめ防止に向けたマニュアルについて
- (7) その他

#### その他 今後の日程

- (1) 7月5日(金) 宮私幼教育振興大会・宮私幼P T A研修大会(東京エレクトロンホール宮城)
- (2) 7月18日(木) 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)

### 【令和6年度 第3回理事会】

日時 令和6年7月26日(金) 午後2時～

場所 宮私幼会議室

#### 議事

- (1) 地区別設置者・園長会議について
- (2) 宮私幼研究・研修に係る担当園の割り当てについて
- (3) 4月～7月迄の事業報告について(各委員会)
- (4) その他

報告事項 令和6年度全日本私立幼稚園第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会<宮城大会>について

#### その他

### 【令和6年度 第4回理事会】

日時 令和6年8月29日(木) 午後1時～

場所 東京エレクトロンホール仙台603会議室

#### 議事

- (1) 地区別設置者・園長会議の報告について
- (2) 令和6年度設置者・園長研修会について  
(11月14日(木)14時～16時、仙台市旭ヶ丘市民センター)
- (3) 地区ローテーション・アンケートについて
- (4) 令和6年度第2回定時総会について
- (5) その他

#### 報告事項 なし

#### その他 慶弔規定について

## 事務局だより

## 令和6年度 上半期（4月～9月）

### ○関係機関団体

- 4/30～5/31 県新採研中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)(オンデマンド)
- 5/16 仙私幼総会(仙台市旭ヶ丘市民センター)
- 6/11 宮私幼P T A連合会総会(仙台市民会館)
- 7/4 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 7/20 令和6年度第1回「学ぶ土台づくり」研修会(宮城県行政庁舎)
- 7/26 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 7/26 県次世代育成支援対策地域協議会及び県子ども・子育て会議(県行政庁舎)
- 7/30 県新採研・中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 8/2 教育課程宮城県研究協議会(宮私幼共催)(宮城県行政庁舎)
- 8/2 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 8/8 県新採研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 8/9 仙私幼設置者・園長会議(仙台市旭ヶ丘市民センター)
- 8/21 県中堅研(宮私幼連携・協力)(県総合教育センター)
- 9/26 仙私幼教育振興大会・P T A研修大会

### ○全日私幼連

- 5/9 団体会長会・理事会合同会議(アルカディア市ヶ谷)
- 5/22 定時総会(アルカディア市ヶ谷)
- 6/21 第31回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会<秋田大会>(秋田市)
- 6/22 第1回全日私幼連東北地区会(ANA クラウンプラザホテル秋田)
- 8/23～24 第15回 幼児教育実践学会(大妻女子大学)
- 8/30 全日私幼連東北地区会教育研究担当者連絡協議会(ホテルメトロポリタン山形)

### ○宮私幼のあゆみ

- 4/4 新任教員研修会1(仙私幼共催)[ハイブリッド方式](東京エレクトロンホール宮城)
- 4/11 総務・給付委員会
- 4/18 研究委員会
- 4/25 教研大会 公開園との打合せ会(第4回)
- 5/13 常任理事会と総務・給付委員会合同会議
- 5/16 決算監査会
- 5/17 理事会
- 5/23 研究委員会
- 5/30 第1回定時総会(東京エレクトロンホール宮城)
- 6/4 経営委員会
- 6/6 常任理事会
- 6/6 教研大会実行委員会(第7回)
- 6/13 理事会
- 6/13 総務・給付委員会
- 6/13 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 6/20 研究委員会
- 7/3 研究委員会
- 7/5 令和6年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会、第51回宮城県私立幼稚園・認定こども園P T A研修大会
- 7/9 経営委員会
- 7/10 総務・給付委員会
- 7/18 養成校との懇談会(仙台ガーデンパレス)
- 7/25 保育研修会1(仙私幼共催)(仙台市民会館)
- 7/26 新任教員研修会2(仙私幼共催)[ハイブリッド方式](東京エレクトロンホール宮城)
- 7/26 理事会
- 7/29 主任リーダー研修会(仙私幼共催)[ハイブリッド方式](東京エレクトロンホール宮城)
- 7/31 保育研修会2(仙私幼共催)(仙台市民会館)
- 8/1 保育研修会3(仙私幼共催)(仙台市民会館)
- 8/8 総務・給付委員会
- 8/9 仙台地区設置者・園長会議(仙台市:旭ヶ丘市民センター)
- 8/19 石巻地区設置者・園長会議(石巻市:ひばり幼稚園)
- 8/20 気仙沼・登米地区&大崎地区(合同)設置者・園長会議(栗原市:エポカ21)
- 8/21 名取・岩沼地区&仙南地区(合同)設置者・園長会議(岩沼市:岩沼南こぼと幼稚園)
- 8/21 幼稚園部会・認定こども園部会・保育園部会合同会議
- 8/22 研究委員会
- 8/23 塩釜地区設置者・園長会議(塩釜市:鳥善)
- 8/29 理事会
- 8/29 教研大会実行委員会(第8回)
- 9/5 教研大会 公開園との打合せ会(第5回)
- 9/12 総務・給付委員会
- 9/19 研究委員会
- 9/26 経営委員会

### ○慶弔

- 5/25 なとり児童発達支援センター 落成式

# 令和6年度 宮城県私立幼稚園・認定こども園 教育振興大会 第51回 宮城県私立幼稚園・認定こども園 PTA研修大会

日時 令和6年7月5日(金)午前10時30分～12時30分 会場 東京エレクトロンホール宮城

大会スローガン

## 「次代を担う子どものために」

### ● 第1部 振興大会

第1部の司会は渡辺勝幸宮城県議会議員・宮私幼PTA副会長が担当しました。根來興宣宮私幼副理事長の開式の言葉で始まり、鎌田文恵宮私幼理事長の挨拶に続き、佐々木幸士宮城県議会議員・宮私幼PTA会長より、幼稚園やこども園の可能性、大切な親子の時間、保護者負担軽減、公定価格の要望等についてご挨拶をいただきました。村井嘉浩宮城県知事より、大切な幼児教育を支えたい旨と全国知事会での人口戦略の国への要望等について、高橋信二宮城県議会議長（代読：本木忠一宮城県議会副議長）より、AIや働き方による人間関係希薄化等の次世代環境の懸念から、幼児教育や家庭教育はさらに重要となるとの祝辞をいただきました。来賓紹介の後、大会宣言を山田元郎宮私幼常任理事・佐藤千春宮私幼PTA副会長が読み上げました。庄司昭博宮私幼副理事長の閉式の言葉で第1部を終了しました。



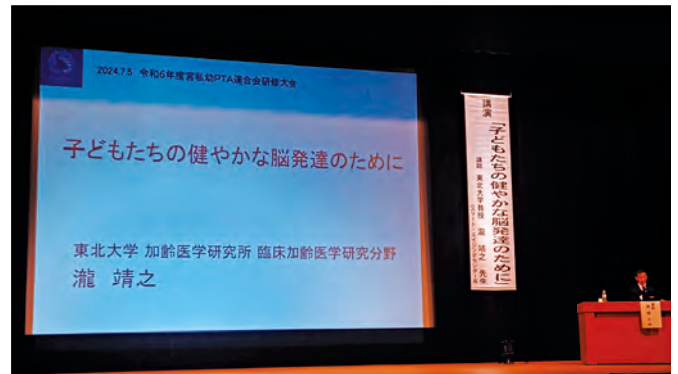
### 大会宣言

私たちは、次代を担う子どもたちの心豊かな人間としての成長や幸福を願い、常に子どもたちを中心とした視点から、家庭教育の向上、幼児教育の振興を図り、すべての子どもたちが良質な幼児教育を受けることができる社会を目指して、子どもたちがはじめて出会う学校である私立幼稚園・認定こども園と手を携え、常に努力することを宣言します。



- 一、私たちは、子どもたちの教育の原点が家庭にあることを再認識し、家庭が子どもたちにとって最も安心でき、共に学び合える場になるよう努めます。
- 一、私たちは、家庭・地域・園が協力し合って絆を深め、心をつなげて、自然災害や事故等から子どもたちの生命を守り、安心して子育てすることのできる地域社会づくりの支援に努めます。
- 一、私たちは、社会や子どもにとって必要な子育て支援の政策が実現されるよう、また私立幼稚園・認定こども園への公的助成の拡充や教職員の待遇改善がされるよう努めます。
- 一、私たちは、心豊かな子どもを育てるために、私立幼稚園・認定こども園の良質な幼児教育を通して、かけがえのない存在である一人ひとりの子どもたちがさらに輝くよう、幼児教育のさらなる質の向上に努めます。

### ● 第2部 研修大会



#### 【講演・講師】

#### 「子どもたちの健やかな脳発達のために」

瀧 靖之 先生（東北大学 教授）

16万人の脳の診断をし、著書も多い瀧先生は、脳の発達の各段階に不可欠な環境や体験について理由を交えて話をされました。



「脳の成長には、愛着形成期は“読み聞かせ”が、そして“知的好奇心”“運動・趣味”“会話のコミュニケーション”が有益であり、“ゲーム依存・肥満・スマホでのコミュニケーションツール”は脳や精神に悪影響を及ぼします。また、“毎日の睡眠とバランスの良い食事、愛情に支えられた自己肯定感・効力感”は子どもの自己実現や学業成績にも大いに関係します」と教えていただき、保護者と教育・保育者にするべとなりました。

伏谷修一宮城県議会議員・宮私幼PTA副会長の閉会の言葉で第2部は終了いたしました。

多数のご来賓を賜り、家庭と地域社会、行政、幼稚園・認定こども園等がさらに手を携えて、次代を担う子どもたちの為に、ともに歩む決意を確認した大会でした。



# 令和6年度 宮私幼第1回総会

令和6年5月30日(木)

東京エレクトロンホール宮城601会議室

(出席者:93名・委任状提出者:55名)

総会に先立ち3月26日にご逝去されたエコールノワール幼稚園設置者佐々木正芳様に哀悼の意を込めて黙祷を捧げました。

開会のことば(根來興宣副理事長)

「幼稚園賛歌」斉唱

(指揮:認定こども園泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園庄子真由美先生)

理事長挨拶(鎌田文恵理事長)



本日の総会では、役員の改選がありますが、退任される役員の皆様には、「与えて求めず、与えられて忘れることなかれ」のごとく、ご尽力いただきました。これからもお力添えをお願いいたします。

[来賓祝辞]

宮城県総務部私学・公益法人課課長伊藤哲也氏: 幼児教育振興と県政発展にご尽力いただき、感謝申し上げます。

宮私幼PTA連合会副会長伏屋修一氏: コロナ前にもどり、行事は再開されていますが、課題もあるようです。今年は、多賀城市は創建1300年を迎え、様々な催しがありますので、どうぞおいでください。

県からのお知らせ(県教育庁指導主事山口晋也氏): 幼児教育施設等からの要請に基づき、幼児教育アドバイザー派遣事業、学ぶ土台づくりをご活用ください。

[議事]

議長として、大崎地区純心幼稚園の尾花耿二先生と宮城野地区東山台幼稚園の清野信先生、議事録署名人として若林地区聖和幼稚園の大友まゆみ先生、気仙沼・登米地区気仙沼カトリック幼稚園の小松智子先生が選任されました。議事は議案書に基づいて進行され、第1号議案令和5年度事

業報告、第2号議案令和5年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告、第3号議案役員選任について審議され、異議なく承認されました。

[報告事項](根來興宣副理事長)

5月22日にアルカディア市ヶ谷で開催された「全日本私立幼稚園連合会令和6年度第1回総会」において、「ゆたかなまナビ」運営経費負担金として、特別会費1園当たり1,500円を徴収(今年度に限り)することが決定されましたが、改めて徴収しないで宮私幼連合会の一般会計から支出することが、臨時理事会で決定されました。

令和6年度第38回東北地区私立幼稚園教員研修大会宮城大会について、実行委員会を設立し、準備をしておりますので、ご協力をお願いいたします。

[その他]事務局の人事について(菅澤事務局長)

5月末をもって、事務局の富田さんと長年お勤めいただいた首藤さんが退職されます。後任は、小原さん(2月着任)、那須さん(4月着任)、専門性のある人材として末永さんと黒澤さんに嘱託としてお勤めいただくことになりました。

「花のおさなご」斉唱

(指揮:認定こども園泉ヶ丘幼稚園・アルル保育園庄子真由美先生)

閉会のことば(庄司昭博副理事長)



## 令和6年度 宮私幼と養成校との懇談会

令和6年7月18日(木) 仙台ガーデンパレス

参加者 養成校15名(15校) 宮私幼・仙私幼13名

挨拶 宮私幼 鎌田文恵理事長  
養成校代表 仙台大学 佐々木和准教授

[議題]

(1) 宮私幼の現況について

(令和5年度『ようちえん』白書@参照)

総務・給付委員会 清野英俊委員長

研究委員会 佐藤洋委員長

(2) PR誌について

仙私幼広報部 佐々木拓真広報部長

学生への新たなPR方法について養成校に相談・依頼

(3) 教育実習の打ち合わせ会から

宮城誠真短期大学 櫻井正昭准教授

今年度事務局として、5月に教育実習の前年度の反省と今年度の計画についてzoomで開催され、その概要について資料に基づいて説明があった。

(4) 話し合い「選んでもらえる園・養成校であるために」

○実習のことを考えると苦しさや不安という気持ちが勝ってしまう学生が多いため、どのような実習をすれば学生が前向きになれるかを幼稚園と養成校で話し合っていると良い。

○早期の退職や離職を防ぐことを目的に、卒業生のサポートや学生間の連携、情報交換などのつながりを強める取り組みを行っている。

○就職活動について、現代の学生に合ったデジタル化された求人活動の情報があると良いと思われる。

○幼稚園での仕事に対するネガティブな印象を払拭し、学生の質を高めることが大事だと考える。

○通常の就職説明会をしても学生はほとんど来ないため、一般企業のやり方に合わせていかなければ学生が動くのは難しい。

○子どもと関わる仕事の素晴らしさ、やり甲斐、醍醐味を様々な場面で学生に伝えていきたい。

[閉会の挨拶] 宮私幼 庄司昭博副理事長

(経営委員会)

## 【研究委員会】 令和6年度地区別設置者・園長会議について

## 1 日程及び会場

地区	日程	会場	参加人数
仙台	8月9日(金)	仙台市: 旭ヶ丘市民センター	60名
石巻	8月19日(月)	石巻市: ひばり幼稚園	11名
気仙沼・登米・大崎 (合同)	8月20日(火)	栗原市: エポカ21	18名
名取・岩沼・仙南 (合同)	8月21日(水)	岩沼市: 岩沼南こぼと幼稚園	22名
塩釜	8月23日(金)	塩釜市: 三陸前活魚鳥前	18名

## 2 会議の内容

今年度も上記の日程で、各地区で設置者・園長会議が行われました。内容としては、経営実態調査の結果から、令和7年度園児募集、養成校との懇談会、各委員会から報告がなされ、今後の研究・研修関係担当園の割り当ての方向性も含め宮私幼と設置者・園長の先生方と様々な話し合いが行われました。地区ごとに、様々な課題も見られ、園児数の減少への今後の対応、教職員の人員確保の面、新制度園移行後の対応等、多くの園で共通することもありました。今後の宮私幼での検討課題としては、次のようになりました。

## 3 今後への検討内容

宮私幼研究・研修に係る担当園の割り当てについて



## 新園長紹介



学校法人お人形社学園  
お人形社第二幼稚園

園長 横澤 淳史



「えんちょう先生、外にあそびに行くよ!」、「きんきゅうじたい、きんきゅうじたい、えんちょう先生、部屋に飛ぶ虫が入ってきた。捕まえて!」と職員室に呼びに来てくれる子どもたちがいることに嬉しく思います。

今の園児たちが社会人となる頃、日本の人口は1億人を下回り、宮城県の人口も現在より20万人減少していると予測されており、マイナスイメージを持ってしまいます。逆に人口が少なくなるということは、AIを活用した生活様式となる中、一人一人がより大切に重要な存在になってくるということでもあります。したがって、人間の土台をつくる幼児教育はどの世代の教育よりも重要だと誰もが考える時代がやってくるのではないのでしょうか。

園の方針「やさしく つよい子になって あかるい明日へ しっかり歩いていけるように。」のもと、子どもたちが安心して心身ともに成長できる園となるように努めていきたいと思ひます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

学校法人法山寺学園  
法山寺幼稚園

理事長兼園長 北村 暁秀



昭和48年祖父である先々代理理事長が境内地に宗教法人として開園したものの、翌年祖父は逝去。その後父である先代理理事長が50年の長きに亘り、保護者の皆様や歴代の先生方に支えられながら当園は歩んで参りました。その間学校法人へと移行し、4年前には念願の新園舎が完成。しかし喜びも束の間、昨年その先代が他界致しました。以来拙いながらも私がお願ひの職を預かり現在に至ります。

お寺の幼稚園として地域の皆様に認知され、仏教保育を柱としてこれまでに6千名近くの卒園児を輩出し、仏教の敷衍にも寄与してきたと自負しております。とりわけ教えの根幹である坐禅を重んじ、毎週本堂で坐禅会を行い、静かな心優しい心を育むことに力を注いでおります。住職としてお檀家さんに伺えば卒園児がいることが日常で、綺麗な合掌の姿が身につけていることに感動を憶えます。今後も当園の特色を大切に受け継ぎ、次代を担う子どもたちの育成に尽力して参る所存です。

幼稚園訪問記

幼な子とともに

エコールノワール幼稚園

〒984-0042 仙台市若林区大和町1丁目17-25  
園児数106名(7クラス) 教職員25名  
(満3歳児9名、3歳児23名、4歳児35名、5歳児29名)

エコールノワール幼稚園  
を訪問しました!!



園長 佐々木拓真先生

令和6年7月16日(火)、エコールノワール幼稚園を訪問し、園長の佐々木拓真先生より、前園長先生が作られた画塾を基に始まったという園の歴史、園庭の特徴、創作を中心とした幼児教育への思い、それぞれのクラスの取り組み等についてお話を聞かせていただきました。他のどの園でも見たことのない「箱椅子」の存在は驚きでした。子どもたちが、のびのびとクレパスや絵の具を用いてダイナミックに、独自の作品を生み出す環境や、地域の子どもたちに毎日利用してもらいつつ自園の魅力を知ってもらふ新しい取り組みについても聞かせて頂き、信念に基づいて園経営をされてきた様子を知ることができました。住宅街の中にありながら、様々な種類の木々や花々、井戸から湧き出る水路、畑、手作りの大型遊具のある園庭は素晴らしく、子どもたちが五感を磨き、触れて見て学び、そして創作活動へと意識を昇華させていく姿が見える唯一無二の幼稚園でした。各保育室にある色鮮やかな大型作品、一人ひとりの個性の見える作品群。通常保育なのにあたたかも「作品展」を見に来たように感じさせられました。

1. 概要

1961年(昭和36年)、前園長主宰の画塾「エコールノワール」にて未就学児童も指導していた関係で幼稚園開設の流れになりました。園名はそのまま、エコールノワール幼稚園としました。エコールノワールは「黒の会」の意味で、黒は白と並んですべての色の基本となる色とのことです。(認可は1968年(昭和43年))

2. 特色

- ◇造形教育を通して、創造性や自主性を育む。
- ◇十分に外遊びを楽しむことで、自然に触れて伸び伸びと過ごす。

※体育活動は特にありませんが、手作りの遊具を十分に楽しむことで自然に体力と、友達と関わる力が育ちます。



3. 特に力を入れている保育等

仙台市若林区の地下鉄駅から徒歩数分の住宅街の中に位置しながら、昔からの自然環境を生かした園庭づくりがなされています。メタセコイアの大木を利用したツリーハウス、井戸水が流れる小川、鴨や亀などの小動物コーナー、そして季節の野菜を子どもたちが観察・収穫できる畑のほか、プラタナス、どんぐり、桜などの木々が木陰を作っている園庭は、近所の親子に毎日開放されています。



渡り廊下で繋がる保育室で使用されている「箱椅子」はこの園独自のものです、子どもたちが高さを変えながら座ったり、机にしたり、自分の所持品整理に使ったりできます。

どの学年も日常的に絵画・製作の活動を行い、保育室は子どもたちの作品で飾られています。

「どれが正解というのはない」子どもたち一人ひとりの個性を大切に、丁寧な関わりがなされています。

4. 保育時間・預かり保育

月～金 8時20分～14時  
早朝保育 7時30分～8時20分  
預かり保育 14時～18時30分

5. 給食

週3回(月・水・金)  
業者搬入で希望者のみ



6. 未就園児教室

りす組として月に一度開催しています。

また地域の子育て支援事業として、平日10時～11時まで広い園庭を開放しています。

園児が活動する様子を見てもらいながら、園庭を存分に楽しんでいただいています。

7. バス送迎

大小2台のバスを運行しています。一台は園直接、もう一台はバス会社委託です。